



Step2
契約・法務
日→英

目次

練習課題.....	5
練習課題 1 特許ライセンス契約.....	6
練習課題 2 給与規程.....	9
練習課題 3 宿泊約款.....	12
練習課題 4 輸入貿易管理令（ワシントン条約）.....	15
添削課題.....	21
添削課題 C-201 PR 業務委託契約書.....	22
添削課題 C-202 協会定款.....	23
添削課題 C-203 普通保険約款.....	24
添削課題 C-204 判例.....	26
添削課題 C-205 AAA Book 利用規約.....	27
添削課題 C-206 取引基本契約書.....	29
添削課題 C-207 研究試料提供契約書（案）.....	30
添削課題 C-208 債権買取契約書.....	31
添削課題 C-209 秘密保持契約書(1).....	32
添削課題 C-210 秘密保持契約書(2).....	35
添削課題 C-211 第 7 章 監査役および監査役会.....	36
添削課題 C-212 通信機器管理規定.....	37
添削課題 C-213 社用車管理規程.....	38
添削課題 C-214 就業規則.....	39
添削課題 C-215 第 8 条（保険金を支払わない場合）.....	40
添削課題 C-216 寄託の意義.....	43
添削課題 C-217 化学物質の輸入通関手続き.....	45
添削課題 C-218 電気設備技術基準解釈.....	46
添削課題 C-219 マネー・ロンダリングの防止.....	47
添削課題 C-220 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律案.....	48

Sidelight 1	「場合」「時」「とき」の使い分けについて	18
Sidelight 2	「貸す」、「借りる」	25
Sidelight 3	計算の表現.....	33
Sidelight 4	プロへの道.....	41
翻訳コーディネーターJun	のぼやき日記	28、44

練習課題

練習課題 1

特許ライセンス契約の一部です。厳密な表現に注意して訳してみましょう。（翻訳目安時間：120 分）

特許ライセンス契約

第 2 条 ライセンスの付与

1. ライセンサーは、ライセンサーが本契約締結日時点において保有または支配する特許（以下「特許」という）に基づいて、日本国内で本製品を製造、使用および販売する譲渡不能かつ独占的实施権を、本契約期間中ライセンシーに付与する。

第 3 条 技術援助

1. ライセンサーがライセンシーから技術者（以下「技術者」という）の派遣を要請され、ライセンサーが本契約の目的を遂行するためには当該技術者を派遣することが効果的だとみなす場合、ライセンサーは、ライセンシーのかかる要請を受諾し、以下の条件で、技術者をライセンシーに派遣する。
 - 1) 旅費
ライセンシーは、技術者の東京ロサンゼルス間のビジネスクラスの往復航空運賃とロサンゼルス空港からライセンシーの工場までの往復交通費を負担する。
 - 2) 日当
ライセンシーは、技術者一人あたり日当 5 万円を負担する。ただし、当該金額には、すべての生活費と宿泊料が含まれるものとする。
 - 3) 滞在期間
技術者の滞在期間は、ライセンサーとライセンシー間の交渉で決定され、延長される。ただし、一回の滞在は、最長で 90 日間とする。
2. 技術者の労働日数は、月曜日から金曜日までの週 5 日間とし、その労働時間は、一日 7 時間を越えないものとし、さらに一時間以上の休憩を含むものとする。技術者が労働時間を超過してまたは深夜に勤務せよとのライセンシーの要求を受け容れる場合、ライセンシーは、技術者に合理的な 超過勤務手当を支払わなければならない。

【解説】

1) 特許ライセンス契約 [Patent License Agreement]

特許権者（特許の所有者）が第三者に対し、特許権の使用を許諾する契約です。

2) 本契約締結日時点において [at the time of the execution of this Agreement]

execution は、「締結」という意味です。他にも、at the time of the conclusion of this Agreement も使えます。

3) non + ~able の形で、「～不能の」という形容詞になります。

契約書に頻出するものとして、次のような例があります。

nonassignable（譲渡不能の）、nonrefundable（払戻し不能の）、nonenforceable（強制不能の）、noncancelable（解約不能の）

4) 「みなす」と類似した表現に「推定する」がありますが、法律用語においては、「みなす」と「推定する」(be assumed)とは意味が違います。前者は確定的な推定を意味するのに対し、後者は反証があればそれを覆すこともありえるような非確定的な推定を意味します。厳格な法律文書の中では両者は使い分けられていますが、一般の契約書の中には、非確定的な推定であっても「みなす」を使用したり、その反対の場合もあります。文意をよく考えて、訳すことが大切です。

〔例〕

通知は、発送をもって、成されたものとみなされる。

(Any notice shall be considered to have been served at the time of its dispatch.)

7 年間生死が不明の者は、死亡したものとみなされる。

(A person to whom it is unknown for seven years whether he or she is alive or dead shall be deemed to have died.)

婚姻中に妻が懐胎した子は、夫の子と推定される。

(A child who is conceived by a wife during marriage is assumed to be the child of the husband and wife.)

5) 日当 [daily allowance]

allowance は、ここでは「手当て」という意味です。主な allowance は次の通りです。

travel allowance（出張手当）、child-care allowance（育児手当）、dependent allowance（扶養手当）、overtime allowance（残業手当、超過勤務手当て）

6) 合理的な [reasonable]

契約書ではできるだけ確定的な表現を使用することが望ましいのですが、そうもいかない場合もあります。数量や金額等、明記できない場合には、日本語でも、「相応の、相当の、妥当な、合理的な」といった表現がよく使われます。reasonable は、こういった場合に多用されます。

【参考訳例】

Patent License Agreement

Article 2 (Grant of License)

Licensor hereby grants to Licensee during the term of this Agreement a nontransferable and exclusive license to manufacture, use and sell the Products in Japan under the patents owned or controlled by Licensor at the time of the execution of this Agreement (hereinafter referred to as “Patents”).

Article 3 (Technical Assistance)

1. When Licensor is required by Licensee and Licensor deems it effective to send engineer(s) of Licensor (hereinafter referred to as “Engineers”) to Licensee in order to fulfill the purpose of this Agreement, Licensor shall accept Licensee’s request and shall dispatch Engineers to Licensee under the following conditions: a) Travel expenses: Licensee shall bear Engineers’ round trip air fare in business class from Tokyo to Los Angeles and round trip transportation expenses from Los Angeles airport to Licensee’s factory. b) Daily allowance: Licensee shall bear the daily allowance of fifty thousand Japanese Yen (¥50,000) per Engineer and this sum shall include all living expenses and accommodation fees. c) Period of stay: The period of stay of Engineers shall be decided on, and extended upon, negotiations between Licensor and Licensee, provided that the maximum length for each stay of Engineers shall be ninety (90) days.

2. The working days of Engineers shall be five (5) days a week and their working hours shall not exceed seven (7) hours a day and shall include not less than one (1) hour’s rest. When Engineers accept Licensee’s request to work more than the said working hours or to work at night, Licensee shall pay Engineers a reasonable overtime allowance.